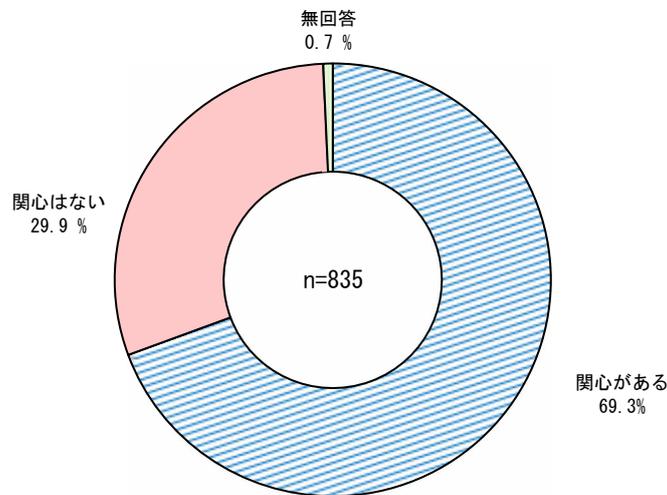


北海道食品機能性表示制度（ヘルシーDo）について

問1 健康食品に関心がありますか。

次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「関心がある」(69.3%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「関心はない」(29.9%)となっている。

【圏域別】

「関心がある」については、道南連携地域(83.1%)が最も割合が高く、次いで十勝連携地域(70.5%)となっている。「関心はない」については、オホーツク連携地域(33.3%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(31.4%)となっている。

【人口規模別】

「関心がある」については、町村部(74.2%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(70.3%)となっている。「関心はない」については、札幌市(32.9%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(29.3%)となっている。

【性別】

「関心がある」については、男性61.4%、女性75.9%となっており、「関心はない」については、男性37.5%、女性23.8%となっている。

【年代別】

「関心がある」については、70歳以上(79.7%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(72.4%)となっている。「関心はない」については、18～29歳(41.7%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(35.2%)となっている。

【職種別】

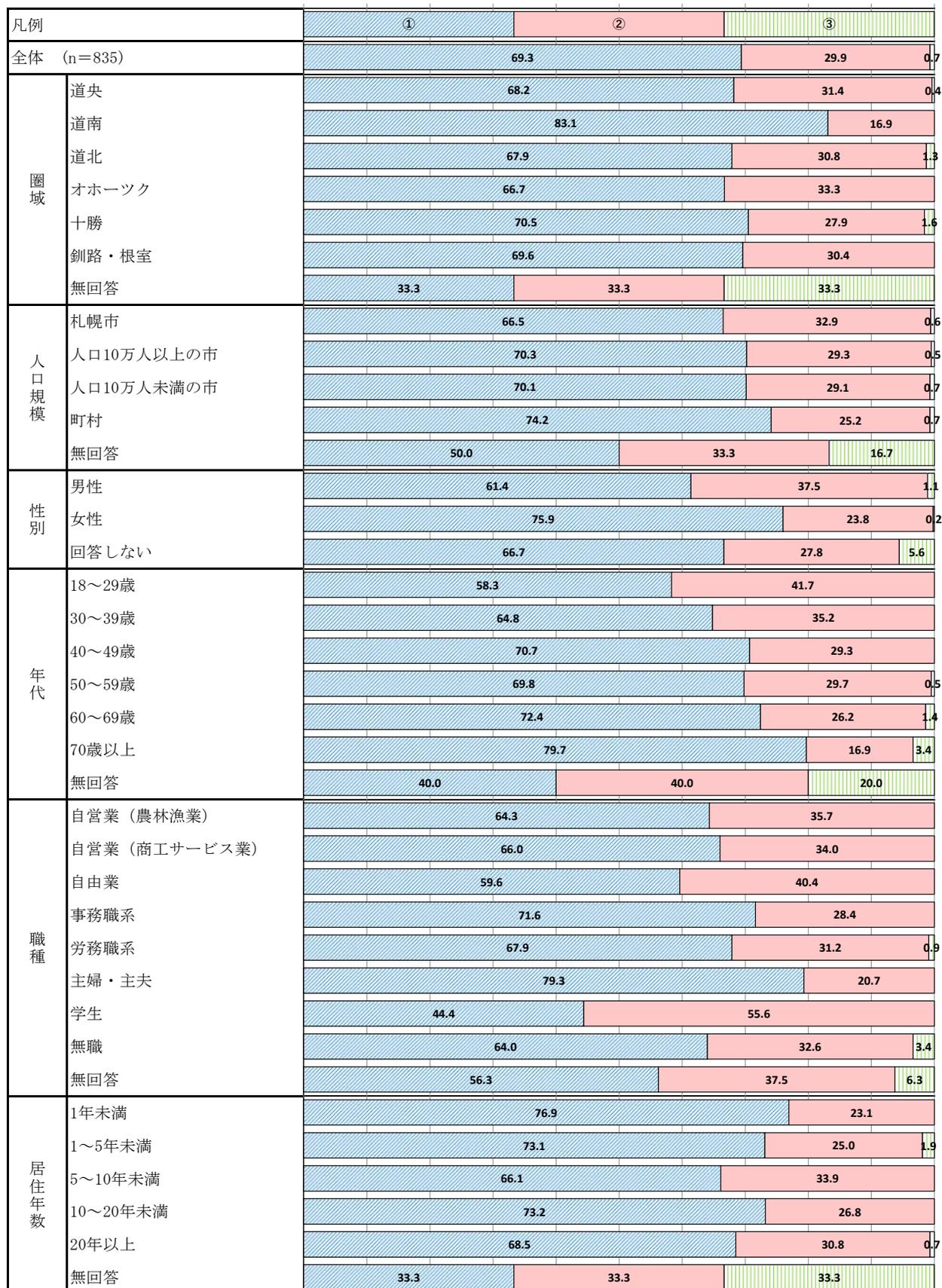
「関心がある」については、主婦・主夫(79.3%)が最も割合が高く、次いで事務職系(71.6%)となっている。「関心はない」については、自由業(40.4%)が最も割合が高く、次いで自営業(商工サービス業)(34.0%)となっている。

【居住年数別】

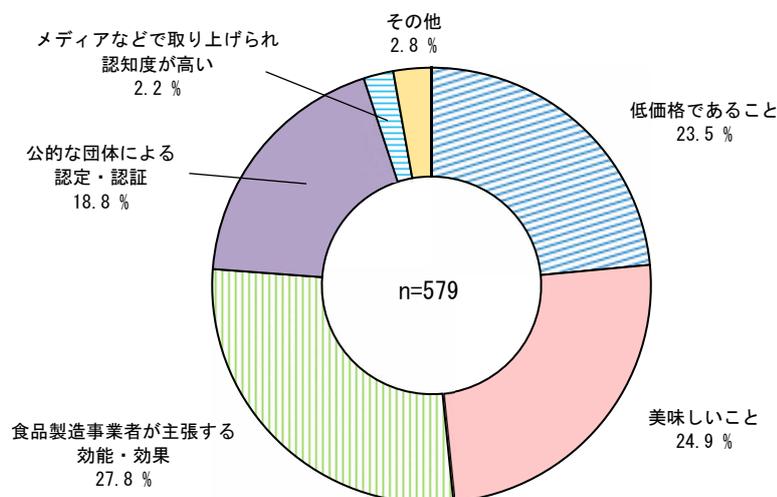
「関心がある」については、1年未満(76.9%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(73.2%)となっている。「関心はない」については、5～10年未満(33.9%)が最も割合が高く、次いで20年以上(30.8%)となっている。

①関心がある ②関心はない ③無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問2 ※問1で選択肢「1 関心がある」を選んだ方のみお答えください。
 あなたが健康食品を購入する際に最も重視することは何ですか。
 次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「食品製造事業者が主張する効能・効果」(27.8%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「美味しいこと」(24.9%)、「低価格であること」(23.5%)の順となっている。

【圏域別】

「食品製造事業者が主張する効能・効果」については、オホーツク連携地域(29.4%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(29.2%)となっている。「美味しいこと」については、道北連携地域(39.6%)が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(28.1%)となっている。

【人口規模別】

「食品製造事業者が主張する効能・効果」については、町村部(34.8%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(34.0%)となっている。「美味しいこと」については、人口10万人以上の市(30.8%)が最も割合が高く、次いで札幌市(26.6%)となっている。

【性別】

「食品製造事業者が主張する効能・効果」については、男性27.0%、女性29.0%となっており、「美味しいこと」については、男性27.0%、女性23.2%となっている。

【年代別】

「食品製造事業者が主張する効能・効果」については、50～59歳(32.8%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(31.5%)となっている。「美味しいこと」については、18～29歳(37.1%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(29.3%)となっている。

【職種別】

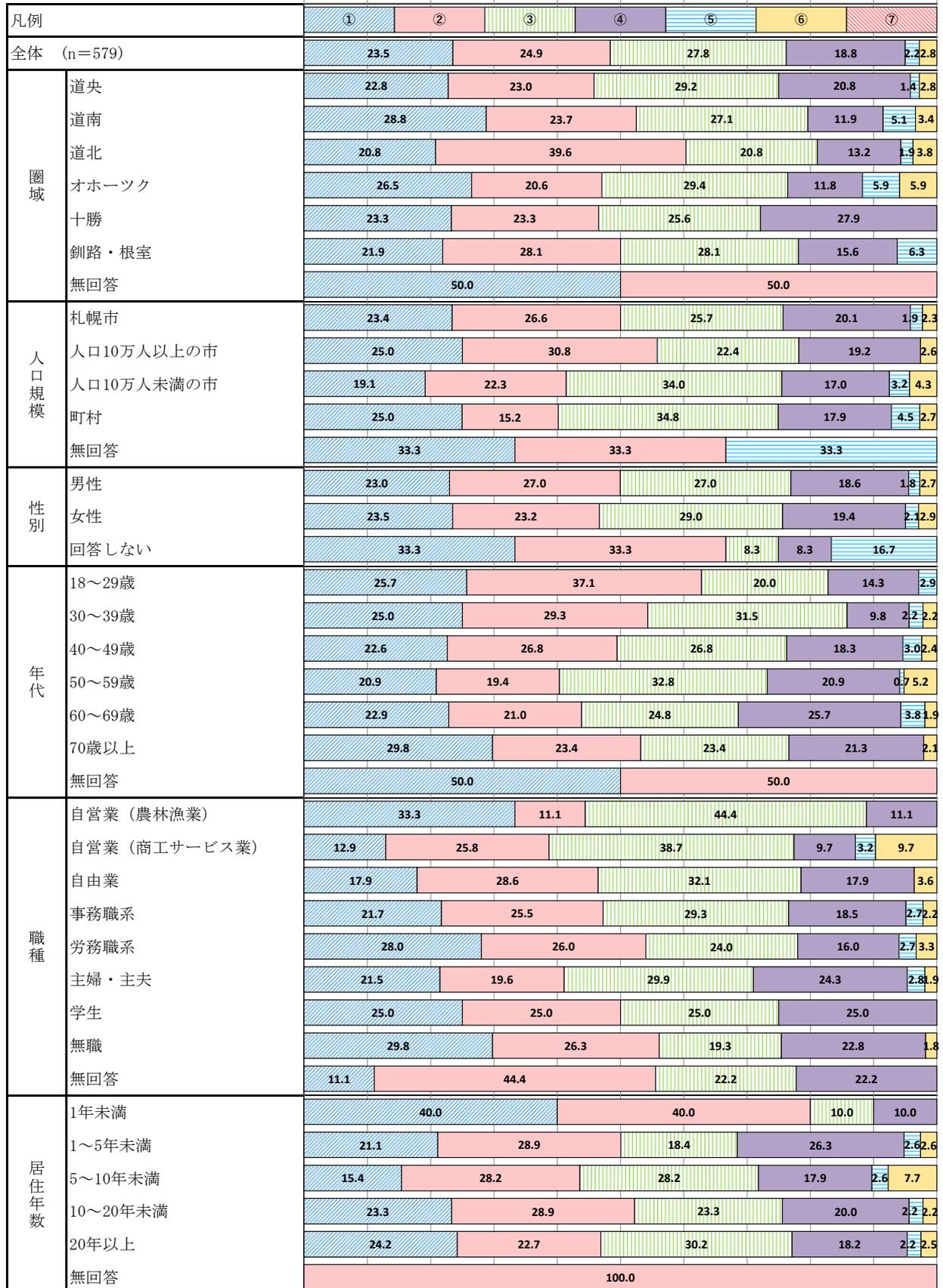
「食品製造事業者が主張する効能・効果」については、自営業(商工サービス業)(38.7%)が最も割合が高く、次いで自由業(32.1%)となっている。「美味しいこと」については、自由業(28.6%)が最も割合が高く、次いで無職(26.3%)となっている。

【居住年数別】

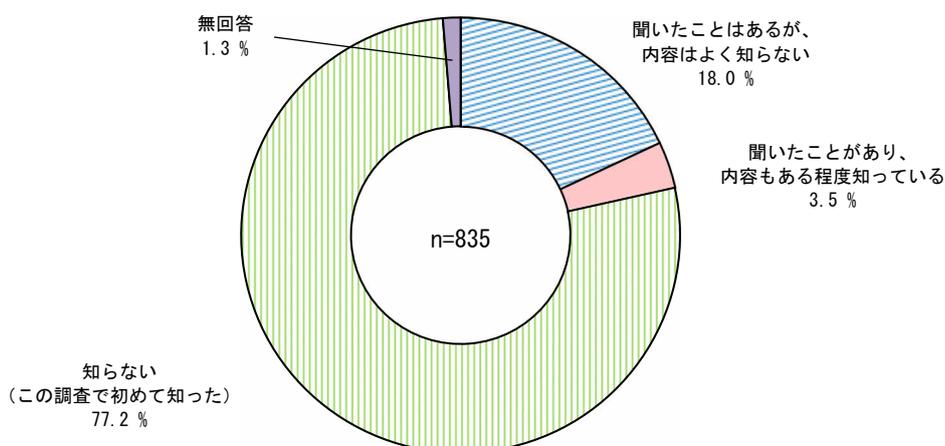
「食品製造事業者が主張する効能・効果」については、20年以上(30.2%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(28.2%)となっている。「美味しいこと」については、1年未満(40.0%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満と10～20年未満が同率(28.9%)となっている。

- ①低価格であること ②美味しいこと ③食品製造事業者が主張する効能・効果
 ④公的な団体による認定・認証 ⑤メディアなどで取り上げられ認知度が高い
 ⑥その他 ⑦無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問3 北海道食品機能性表示制度『ヘルシーDo』を知っていますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「知らない (この調査で初めて知った)」(77.2%) と答えた方の割合が最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(18.0%)、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」(3.5%) の順となっている。

【圏域別】

「知らない (この調査で初めて知った)」については、釧路・根室連携地域 (80.4%) が最も割合が高く、次いで道北連携地域 (79.5%) となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、オホーツク連携地域 (19.6%) が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域 (18.6%) となっている。

【人口規模別】

「知らない (この調査で初めて知った)」については、人口 10 万人未満の市 (80.6%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市 (78.4%) となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、札幌市 (18.9%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市 (17.6%) となっている。

【性別】

「知らない (この調査で初めて知った)」については、男性 75.0%、女性 80.0% となっており、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、男性 18.8%、女性 16.7% となっている。

【年代別】

「知らない (この調査で初めて知った)」については、40～49 歳 (87.9%) が最も割合が高く、次いで 30～39 歳 (83.8%) となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、70 歳以上 (28.8%) が最も割合が高く、次いで 60～69 歳 (24.1%) となっている。

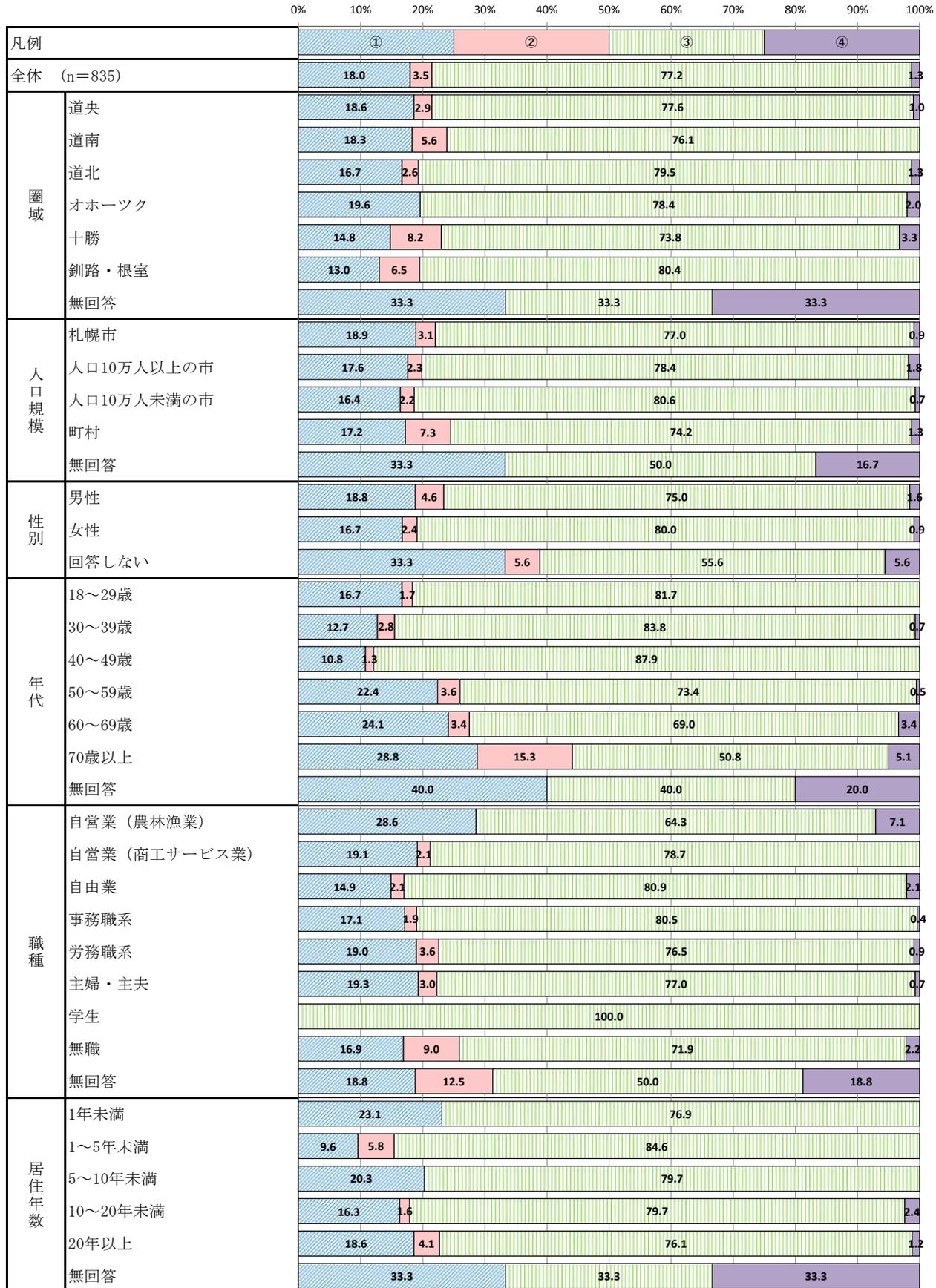
【職種別】

「知らない (この調査で初めて知った)」については、自由業 (80.9%) が最も割合が高く、次いで事務職系 (80.5%) となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、主婦・主夫 (19.3%) が最も割合が高く、次いで自営業 (商工サービス業) (19.1%) となっている。

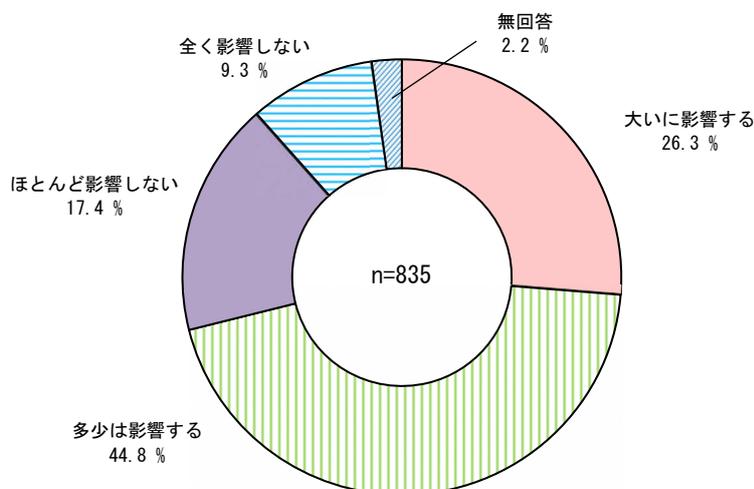
【居住年数別】

「知らない (この調査で初めて知った)」については、1～5 年未満 (84.6%) が最も割合が高く、次いで 5～10 年未満と 10～20 年未満が同率 (79.7%) となっている。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」については、1 年未満 (23.1%) が最も割合が高く、次いで 5～10 年未満 (20.3%) となっている。

①聞いたことはあるが、内容はよく知らない ②聞いたことがあり、内容もある程度知っている
 ③知らない（この調査で初めて知った） ④無回答



問4 『ヘルシーDo』商品は原則として道内製造品に限定しています。
健康食品の製造地が道内であることは購入の判断に影響しますか。
次の中から一つだけお選びください。



【全体】

「多少は影響する」(44.8%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「大いに影響する」(26.3%)、「ほとんど影響しない」(17.4%)の順となっている。

【圏域別】

「多少は影響する」については、オホーツク連携地域(51.0%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(46.9%)となっている。「大いに影響する」については、道南連携地域(36.6%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(32.1%)となっている。

【人口規模別】

「多少は影響する」については、人口10万人未満の市(52.2%)が最も割合が高く、次いで札幌市(50.0%)となっている。「大いに影響する」については、人口10万人以上の市(30.6%)が最も割合が高く、次いで町村部(28.5%)となっている。

【性別】

「多少は影響する」については、男性41.0%、女性48.1%となっており、「大いに影響する」については、男性22.8%、女性29.6%となっている。

【年代別】

「多少は影響する」については、30~39歳(50.7%)が最も割合が高く、次いで18~29歳(48.3%)となっている。「大いに影響する」については、70歳以上(39.0%)が最も割合が高く、次いで40~49歳(31.0%)となっている。

【職種別】

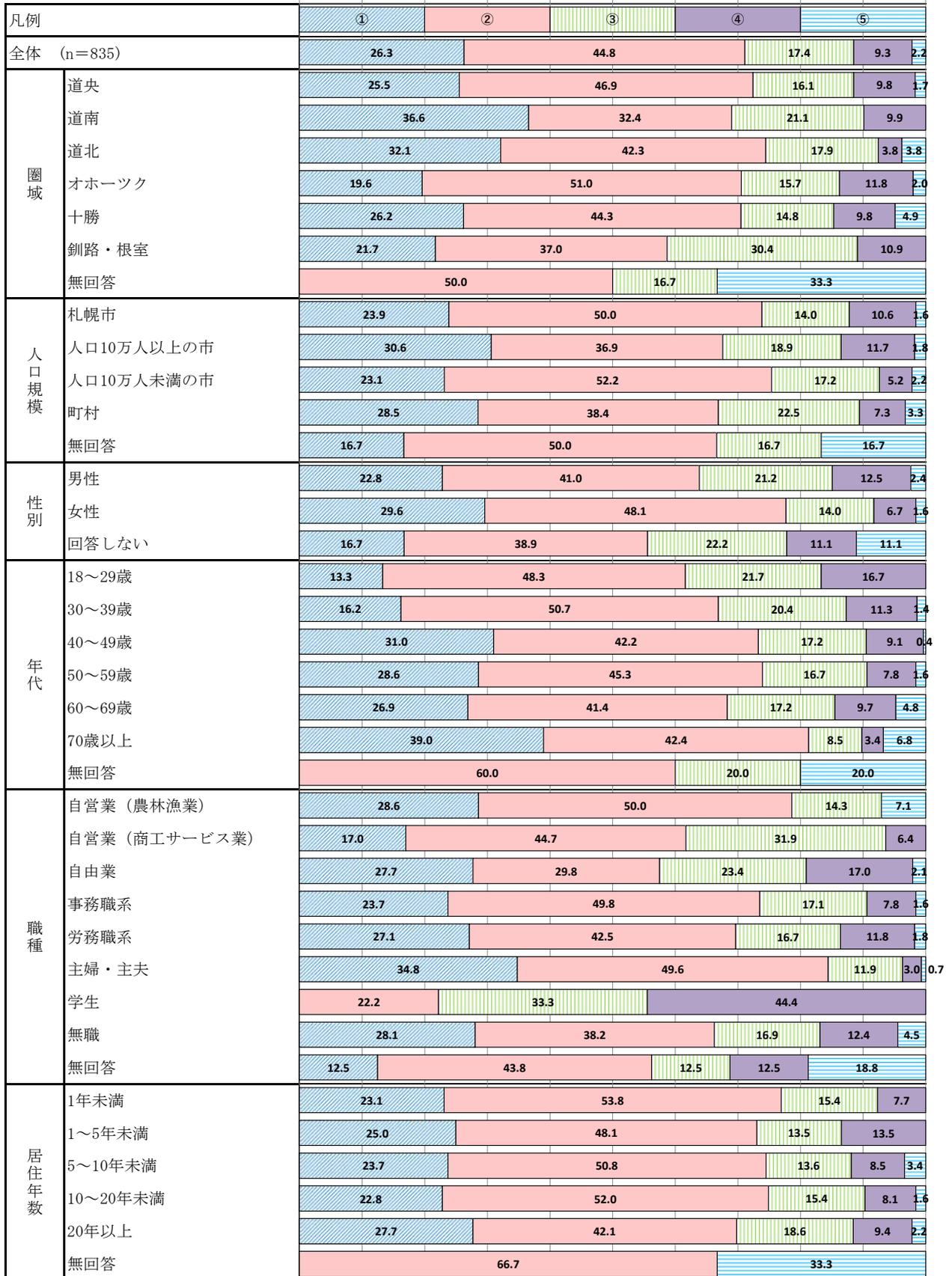
「多少は影響する」については、事務職系(49.8%)が最も割合が高く、次いで主婦・主夫(49.6%)となっている。「大いに影響する」については、主婦・主夫(34.8%)で最も割合が高く、次いで無職(28.1%)となっている。

【居住年数別】

「多少は影響する」については、1年未満(53.8%)が最も割合が高く、次いで10~20年未満(52.0%)となっている。「大いに影響する」については、20年以上(27.7%)が最も割合が高く、次いで1~5年未満(25.0%)となっている。

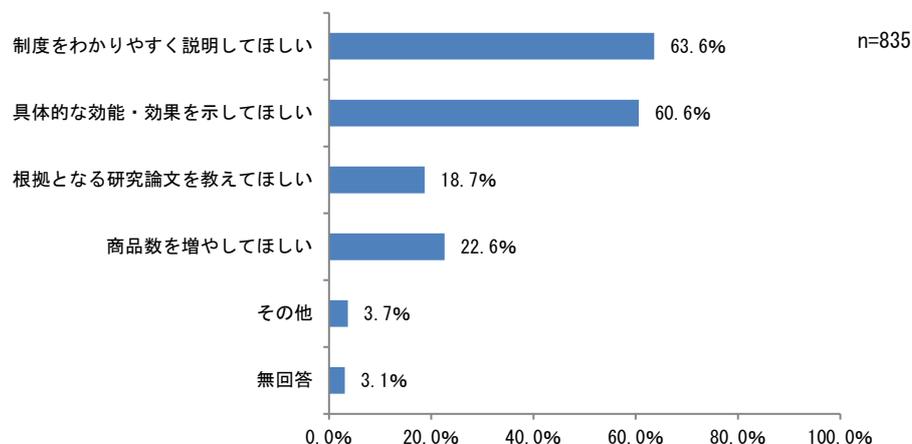
①大いに影響する ②多少は影響する ③ほとんど影響しない
 ④全く影響しない ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問5 今後、『ヘルシーDo』にどのようなことを期待しますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「制度をわかりやすく説明してほしい」(63.6%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「具体的な効能・効果を示してほしい」(60.6%)、「商品数を増やしてほしい」(22.6%)の順となっている。

【圏域別】

「制度をわかりやすく説明してほしい」については、道南連携地域(70.4%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(65.4%)となっている。「具体的な効能・効果を示してほしい」については、道央広域連携地域(62.1%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(61.5%)となっている。

【人口規模別】

「制度をわかりやすく説明してほしい」については、町村部(67.5%)が最も割合が高く、次いで札幌市(65.2%)となっている。「具体的な効能・効果を示してほしい」については、人口10万人未満の市(66.4%)が最も割合が高く、次いで札幌市(59.9%)となっている。

【性別】

「制度をわかりやすく説明してほしい」については、男性60.3%、女性66.8%となっており、「具体的な効能・効果を示してほしい」については、男性56.3%、女性64.6%となっている。

【年代別】

「制度をわかりやすく説明してほしい」については、30～39歳(68.3%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(65.1%)となっている。「具体的な効能・効果を示してほしい」については、30～39歳(67.6%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(63.5%)となっている。

【職種別】

「制度をわかりやすく説明してほしい」については、自営業(商工サービス業)(70.2%)が最も割合が高く、次いで主婦・主夫(69.6%)となっている。「具体的な効能・効果を示してほしい」については、主婦・主夫(71.9%)が最も割合が高く、次いで事務職系(65.4%)となっている。

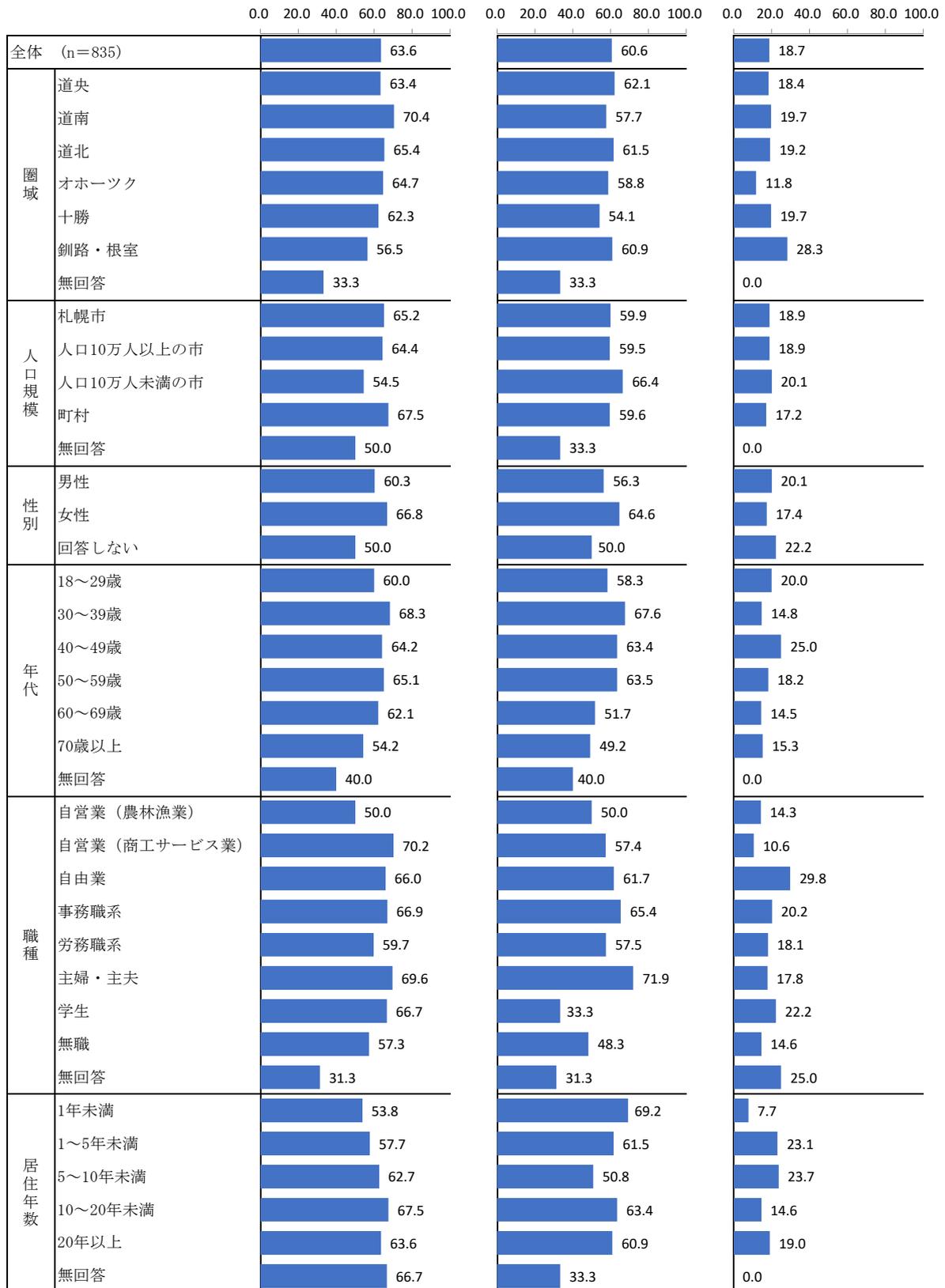
【居住年数別】

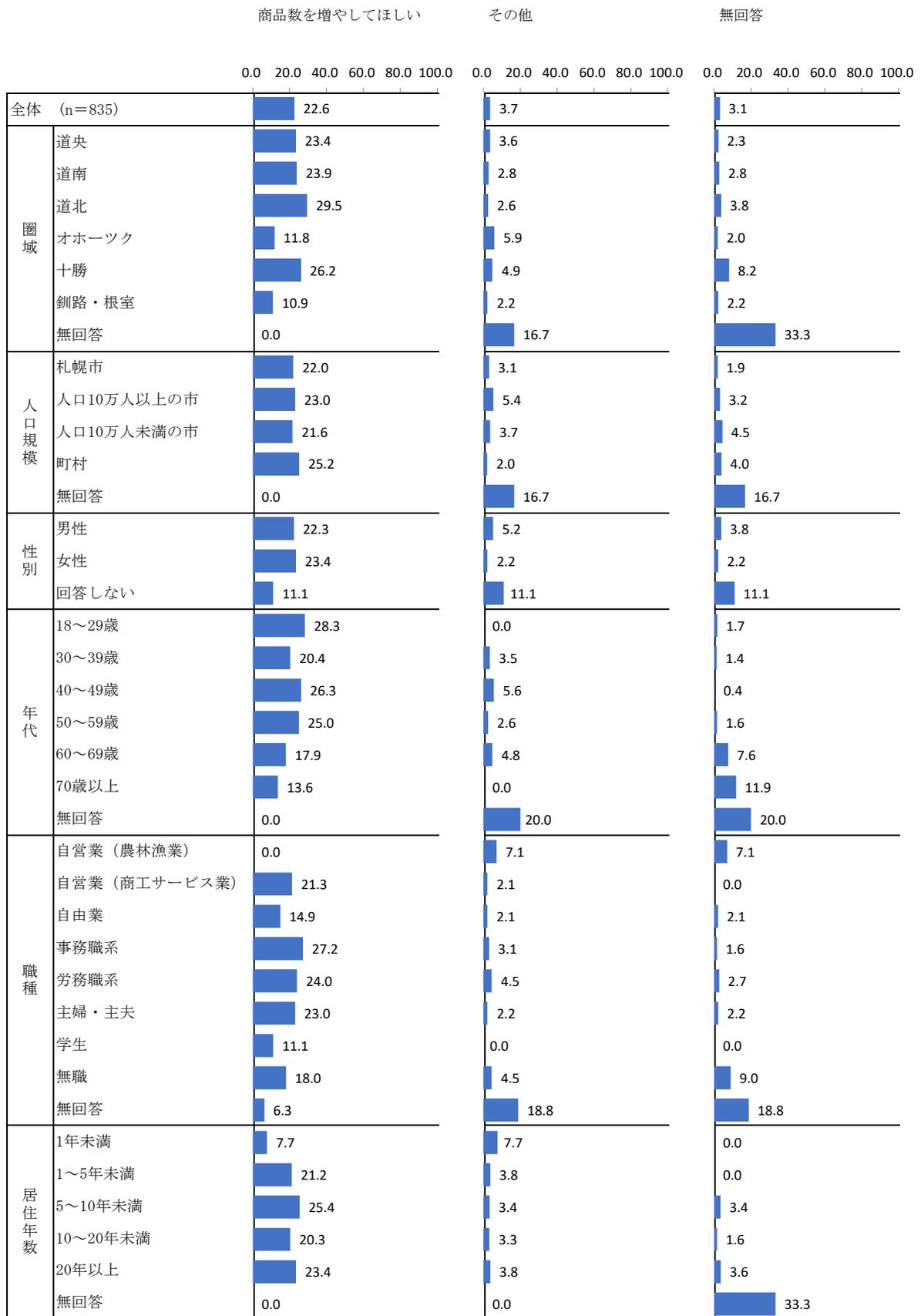
「制度をわかりやすく説明してほしい」については、10～20年未満(67.5%)が最も割合が高く、次いで20年以上(63.6%)となっている。「具体的な効能・効果を示してほしい」については、1年未満(69.2%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(63.4%)となっている。

制度をわかりやすく説明してほしい

具体的な効能・効果を示してほしい

根拠となる研究論文を教えてください





「北海道食品機能性表示制度（ヘルシーD○）について」の調査を終えて

道では、道産食品の高付加価値化を図るため、道内で製造された健康食品に含まれる機能性成分について、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われた事実を認定する「北海道食品機能性表示制度（ヘルシーD○（ドゥ）」を平成25年（2013年）4月1日からスタートさせた。

今回の調査結果では、健康食品に関しては、7割以上の方が、製造地が道内であることが購入の判断に「大いに影響する」「多少は影響する」と答えている。

また、ヘルシーD○に関しては、6割以上の方が「制度を分かりやすく説明してほしい」と答えている。

今後は、これらの調査結果を踏まえながら、本制度の効果的な運用に向けて、情報発信や企業への働きかけの強化等に取り組み、ヘルシーD○の推進を通じた道産食品の高付加価値化や食の北海道ブランドの発信を図っていく。

（経済部食関連産業局食産業振興課）